



じひょう
耳標
国内で生まれたすべての牛に付けられる
個体識別番号標

安全で、おいしい 牛肉

をお届けするために

牛肉の履歴がわかるトレーサビリティ制度

12月から

**BSE(牛海綿状脳症)
騒動が残した教訓**

BSE、いわゆる狂牛病が国内でも発生し、食卓事情を揺るがしたことは、まだ記憶に新しい出来事です。牛肉の買い控えなど、日本経済に大きな打撃を与えました。

潜伏期間が長い伝染病のため、その牛がいつどこで感染したかをつかみにくく、伝染の拡大を抑えるのに時間がかかりました。その牛の移動経路がすぐわかれば……。これがBSE騒動で得られた教訓です。

**牛肉の生い立ちが
誰でもわかります**

肉牛の多くは、出生後、成長するために別の場所に移ります。その経路をすべての牛について明らかにするトレーサビリティ制度が12月から始まります。

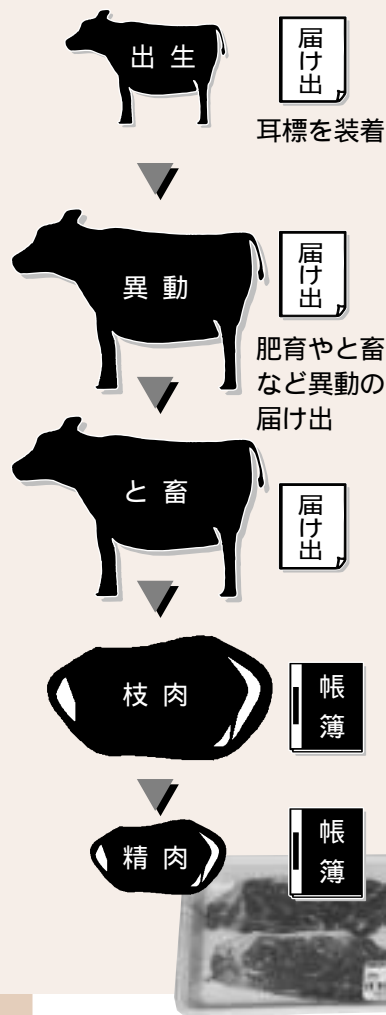
これは「牛の個体識別のための情報の管理及び伝達に関する特別措置法」の施行によるもので、すべての牛に個体識別番号を付け、出生や異動を記録することにより、買った牛肉が店頭に並ぶまでの履歴を正確に伝える制度です。

これにより、BSEのような伝染病の原因をすばやくキヤッチし、早期対策を行うことが期待できます。

牛肉のトレーサビリティ制度についてのお問い合わせは、市農業振興課 0279-2079へどうぞ。



牛肉が食卓に上がるまで



商品ラベルにも
個体識別番号が



インターネットで個体
識別番号から牛肉の履歴
がわかります

個体識別番号	生年月日	性別	種別
1182110969	H00.00.00	♂	黒毛和種
飼育県	異動内容	異動年月日	所在地
1	〇〇県 出生	H00.00.00	〇〇町
2	〇〇県 転出	H00.00.00	〇〇市
3	△△県 転入	H00.00.00	△△市
4	△△県 転出	H00.00.00	△△市
5	〇〇県 転入	H00.00.00	〇〇市
6	〇〇県 転出	H00.00.00	〇〇市

進んでます!
安心牛肉対策

(社)津山食肉処理公社
谷名 正博さん



市では、12月に本格稼働するトレーサビリティ制度の準備を行っています。牛肉のと畜・解体を行う食肉処理センターに最新機器を導入しました。センターを運営する私たちは、毎日入ってくる約35頭の牛肉と耳標が確実に一対になって処理されるよう日々目を光らせています。またDNAサンプルも国に提出するようになり、安全で安心な牛肉をみなさんに味わっていただけるようになります。

作州お肉まつり

とき 11月28日(日)
午前10時~
ところ ソシオー番街、
アルネ・津山東広場
内容 作州牛肉を使った
鍋物や牛肉販売、肉料理
コンテスト表彰など



独立行政法人家畜改良センターのホームページ
<http://www.id.nlbc.go.jp/top.html>